

## タバコ問題首都圏協議会

### 2014年タバコ問題重大ニュース 社会編

#### 1月22日:横浜市条例での過料処分が法廷へ

横浜市条例の喫煙禁止場所で喫煙した男性への過料処分(2000円)を不服として提訴した、過料取消し裁判で、横浜地裁は、市の過料処分を違法としたが、6月26日の東京高裁は一審判決を破棄し、横浜市勝訴の逆転判決を言い渡した。

#### 2月2日:タバコプランテーションの児童労働実態が報道される

毎日新聞吉富裕倫記者が、インドネシアに自費で取材に赴き「タバコ畑の児童労働」について、問題点を指摘。サブタイトルは「命脅かすニコチン」「貧困の現場規制届かず」。

#### 2月6日:村上春樹氏、「たばこポイ捨て『中頓別』では普通のこと」で物議

作家の村上春樹氏が月刊誌『文芸春秋』の短編小説の中で「たばこポイ捨て『中頓別』では普通のこと」と表現したことに対し、同町の町長と町議有志が抗議文を送る。

#### 5月15日:電子タバコ急増の報道、課題浮き彫りに

朝日新聞が「電子たばこ急増」と報道。財務省は「たばこにあたらぬ」としているが、ニコチン液を個人輸入し吸引するという問題も生じており、今後の課題に。

11月28日には厚生労働省が多量の発がん物質を含むと発表。その後、問題視する報道が相次ぐ。

#### 5月31日:厚生労働省、禁煙大使に安藤美姫さん

厚生労働省が「世界禁煙デーイベント」実施し、禁煙大使に安藤美姫さんを任命。

#### 6月13日:港区が店先の灰皿、撤去を義務付け

港区が、7月から店先の灰皿撤去を事業者にも義務づけると公表。

#### 7月2日:完全禁煙アパートが4棟目 茨城新聞が報道

栃木県小山市の板子文夫氏が、4棟目の「敷地内全面禁煙アパート」を結城市内に建築。その後4棟とも満室に。

#### 8月1日:マック全面禁煙に

マクドナルドが、国内全店舗を全面禁煙に。

#### 10月29日:東京都、受動喫煙防止対策検討会の初会合、委員人選に問題

東京都が受動喫煙防止対策を話し合う検討会の初会合開く。委員に喫煙を擁護する名取春彦、奥村康の2氏が加わり、マナー論を展開。

#### 11月30日:受動喫煙防止法制定を求める「オリンピックを成功させるシンポジウム」日本財団で開催

「受動喫煙の無い日本をめざす委員会(委員長:健康・体力づくり事業財団理事長 下光輝一、賛同団体:131団体)」の主催。笹川陽平(日本財団会長)、杉浦久弘(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)、下光輝一(前出)、島尾 忠(結核予防会顧問)、作田 學(日本禁煙学会理事長)、松沢成文(参議院議員・東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止法を実現する議員連盟幹事長)、尾崎治夫(東京都医師会副会長)、大和 浩(産業医科大学教授)、中田有紀子(ハンフリータ イガー取締役相談役)、山下優子(グローバルダイニング取締役)、原 博(東京都薬剤師会副会長)、松崎道幸(北海道がん対策推進委員会)が講演を行う。(順不同・敬称略)

#### 12月9日:厚生労働省が平成25年度の喫煙率と受動喫煙状況を発表

喫煙率は19.3%(男性32.2%、女性8.2%)に(JT発表は19.7%)。

非喫煙者が、職場では約33%、飲食店では約47%が月に1回以上の受動喫煙にあっていると。

## タバコ問題首都圏協議会

### 2014年タバコ問題重大ニュース 活動編

#### 2月19日: スモークフリー・キャラバン隊 九州に

「スモークフリー・キャラバン隊」が山口県を訪問。その後、九州7県を回り、「受動喫煙防止条例」の制定を訴えて、県知事と議長などに要望書・陳情書を提出。

11月14日、最後の訪問県沖縄に。保健医療部長に要望書提出。これで、(神奈川県を除く)46都道府県を全て訪れ、受動喫煙防止条例の制定を求めたこととなった。

#### 2月18日: 「嫌煙権運動」35周年

「嫌煙権運動」が35周年を迎えた。読売新聞・田村良彦記者が、解説面で大きく報道。「しんぶん赤旗」(3/14)も「規制進む公共の場」として、35年間の動きを取り上げた。

#### 5月30日: がんセンター「税とタバコ」シンポジウム開く

国立がん研究センターで「税とタバコ」シンポジウム開催。望月友美子氏が基調講演。

#### 6月1日: World No-Tobacco Day(世界禁煙デー)イベント 2014 開催

タバコ問題首都圏協議会他が World No-Tobacco Day(世界禁煙デー)イベント 2014 を渋谷区大和田さくらホールで開催。260名の参加者。その後のスモークフリー・ウオークで渋谷の繁華街をパレード、タバコ規制、受動喫煙防止を訴える。

#### 7月26日: 『禁煙ジャーナル』創刊 25周年

『禁煙ジャーナル』が創刊25周年となり、四谷「プラザエフ」で祝う集い開く。

渡辺文学編集長が、読売新聞(7月30日)、10月2日(朝日新聞)、毎日新聞(11月5日)で大きく取り上げられる。

#### 7月30日: 20学会禁煙推進学術ネットワーク、舛添都知事に「受動喫煙防止条例」制定を要望

20学会禁煙推進学術ネットワークが舛添都知事に「受動喫煙防止条例」の制定を求めて申し入れ。藤原久義委員長と大和浩産業医科大教授が、都庁記者クラブで会見。

#### 10月29日: WHO、IOC、世界医師会が舛添知事あての「受動喫煙防止条例」制定を求める手紙を

松沢成文参議院議員と日本禁煙学会が、「受動喫煙防止条例」制定を求めるWHO、IOC、世界医師会からの舛添知事あて手紙を持参。都庁記者クラブで会見も。

#### 11月1日: 浅野牧茂博士逝去

嫌煙権運動の発足当初から先駆的な活動を続けられ、多大な貢献をされた博士が逝去されました。

#### 11月15日: 日本禁煙学会学術総会、沖縄で開催

沖縄で第8回日本禁煙学会の学術総会が開催され、全国から約500人が参加。

#### 11月21日: 「受動喫煙のない日本をめざす委員会」、東京都知事に条例制定の請願書を提出

医学界ほかの131団体で構成する「受動喫煙のない日本をめざす委員会」が、舛添東京都知事に条例制定の請願書を提出。健康日本21全国連絡協議会の増田和茂常務理事、日本禁煙学会の作田学理事長、結核予防会の辻知子氏、タバコ問題情報センターの渡辺文学氏が参加。